

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

|       |               |
|-------|---------------|
| 基本目標  | 穏やかに暮らせるまちの形成 |
| 基本方針  | 安心を支えるまち      |
| 基本施策名 | 社会保障制度の充実     |

|     |       |    |      |
|-----|-------|----|------|
|     | 所属    | 職名 | 氏名   |
| 作成者 | 国保年金課 | 課長 | 小林敬治 |
| 評価者 | 保健医療部 | 部長 | 堀内伸一 |

1 基本施策に対する基本姿勢

|                    |   |
|--------------------|---|
| 現状                 | <p>少子高齢化の進行や医療の高度化に伴い、社会保障制度への負担が大きく増加しているところ。国民健康保険については、被保険者数の減少により医療費総額が減少する一方で、一人当たりの医療費は引き続き増加傾向にあります。後期高齢者医療については、高齢化に伴って被保険者数が増加していることから、医療費負担が右肩上がり増加しています。また、国民年金については、保険料納付の減免又は免除申請が増加傾向にあります。</p> |
| 基本方針<br>(目指すべき方向性) | <p>国民健康保険制度などの充実や国民年金制度の啓発を推進します。また、健診等を推進し、保健センターと連携して保健指導を実施することにより健康で文化的な生活を営める社会の実現を図ります。</p>   |

2 施策指標

| 指標                         | 単位 | (設定時)   | 目標値     | H26 | H27     | H28     | 達成率   | 進捗状況 | 所管課   |
|----------------------------|----|---------|---------|-----|---------|---------|-------|------|-------|
| 国民健康保険事業 (一人当たり) 医療費 (円/年) | 円  | 305,532 | 421,000 |     | 357,904 | 363,967 | 113.5 | 予定以上 | 国保年金課 |

|              |  |
|--------------|--|
| 施策指標の進捗状況と分析 | <p>施策評価指標である国民健康保険一人当たり医療費は、毎年4%前後の増加となっており、平成28年度の推計値は363,967円という状況で、平成29年度目標421,000円を下回る見込みで推移しています。目標を下回っている理由は、特定健診受診率が順調に向上していること、ジェネリック医薬品への切り替えが増加している効果が現れてきたものと分析しています。</p> |
|--------------|--|

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

| No | コード     | 事務事業名             | 所管課    | 事業費 |     |             |             |             | 事務事業の状況       |           |     |      | 重点化   |     |
|----|---------|-------------------|--------|-----|-----|-------------|-------------|-------------|---------------|-----------|-----|------|-------|-----|
|    |         |                   |        | H26 | H27 | H28         | H29         | H30         | 合計            | 事業区分      | 新/継 | 終期   |       | 方向性 |
| 1  | 0103285 | 国保会計繰出金           | 国保年金担当 |     |     | 658,526,179 | 676,011,000 |             | 1,334,537,179 | 義務業務      | 継続  | 期限なし | 現状維持  |     |
| 2  | 0103450 | 後期高齢者医療人間ドック等助成事業 | 国保年金担当 |     |     | 11,634,960  | 11,738,000  |             | 23,372,960    | 定型業務      | 継続  | 期限なし | 現状維持  |     |
| 3  | 1102140 | 精神給付金             | 国保年金担当 |     |     | 19,521,475  | 20,000,000  | 22,000,000  | 61,521,475    | 政策的業務     | 継続  | 期限なし | 縮小・廃止 |     |
| 4  | 1108010 | 特定健康診査等事業費        | 国保年金担当 |     |     | 90,627,471  | 118,308,000 | 116,145,000 | 325,080,471   | 義務・政策併用事業 | 継続  | 期限なし | 現状維持  | ○   |
| 5  | 1108020 | 精密健康診断受診費助成事業     | 国保年金担当 |     |     | 65,089,226  | 69,451,000  | 82,471,000  | 217,011,226   | 義務・政策併用事業 | 継続  | 期限なし | 現状維持  | ○   |
| 6  | 1108030 | 保健事業費             | 国保年金担当 |     |     | 9,921,855   | 14,935,000  |             | 24,856,855    | 義務業務      | 継続  | 期限なし | 現状維持  | ○   |
| 7  | 1108040 | 健康世帯表彰事業          | 国保年金担当 |     |     | 2,255,968   | 3,664,000   |             | 5,919,968     | 政策的業務     | 継続  | H29  | 縮小・廃止 |     |
| 合計 |         |                   |        |     |     | 857,577,134 | 914,107,000 | 220,616,000 | 1,992,300,134 |           |     |      |       |     |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事務事業量とコスト<br>(費用対効果)の分析 | <p>安曇野市独自で実施している精神給付金及び健康世帯表彰事業以外の事業は、他事業への移行が可能な事業であり、廃止の方向で調整を行います。また、その他の事業は法令の基づく事業又は施策指標を実現するために必要な事業であり、事業効果を検証しながら継続して事業を実施したい。</p>   |
| 重点化事務事業の考え方             | <p>特定健康診査等事業費、精密健康診断受診費助成事業、保健事業費については、施策指標である医療費の増加抑制を達成するために必要不可欠な事業です。特に特定健康診査の受診率目標60%を達成するため、個別健診の拡大を図って受診率向上を目指したい。また、精密健康診断受診費助成事業についても人間ドックの受診者が年々増加しており、特定健診受診率の約30%を占めていることに加え、詳細な検査によって疾病の早期発見・早期治療が可能となり、医療費の増加抑制に大きな役割を担っていることから、積極的な周知に取り組んでいきたい。</p>            |
| 縮減・廃止事務事業の考え方           | <p>精神給付金については、国保被保険者に限定した事業であり、被用者保険加入者は対象にならないことから、加入する医療保険によって不公平が生じています。また、費用については全額一般会計の負担となっています。福祉医療に事業を移行することで費用の一部を県補助金で賄うことが可能となることから、長寿社会課と調整を行いたい。また、健康世帯表彰事業は、平成28年度から創設された保険者努力支援制度のガイドラインにおいて、事業実施が好ましくないと位置づけられており、平成29年度をもって廃止し、平成30年度からヘルスケアポイント制度に移行します。</p> |
| 総合評価<br>(次年度へ向けた課題の抽出)  | <p>廃止を検討している精神給付金、健康世帯表彰事業については、平成29年度中に見直し案を検討し、県を単位とする国保広域化に移行する平成30年度から新しい制度に移行したい。また、その他の事業については次年度以降も継続をしていきますが、年度毎に実績を検証し、必要に応じて見直しを行います。</p>  |